



久 建 第 2892 号
平成20年10月10日

国土交通省道路局長 殿

久米島町長
平 良 朝 幸



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付、国道企第37号で依頼のあった標記の件について
別紙のとおり回答いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

沖縄県久米島町

①道路行政全般について改善すべき点・要望や提案など

1. 費用対効果による道路整備の必要性の判断の改善。

交通量及び歩行者数が極端に少ない過疎地域（特に離島地域）にとっては最も不利な条件であり、真にその地域に必要な道路整備が出来るような制度改善が必要である。

2. 老朽化したストックの維持管理及び更新の制度の確立。

年々増加する、建設後年数を経過した道路補修及び更新に対応できる補助制度が必要である。財政的に脆弱な市町村においては単独予算による補修や更新は不可能な状況である。

3. 無電柱化の促進。

台風の常襲地帯である地域においてはライフラインを収容する道路整備も必要である。

今後の道路行政についての意見・提案

②－１ 地域の現状と抱える課題

様式②

沖縄県久米島町

○現状

観光拠点間を連結する道路、及び港湾と主要地方道を連結する道路の整備が急務である。

○課題

費用対効果による補助事業の採択基準をクリア出来ず事業採択が困難。

②-2 地域の目指すべき将来像

1. 産業・経済を支援するみちづくり

- ・観光地域及び産業振興地域間を連携する道路整備で、観光客へのサービス向上を図り伸び悩んでいる観光入込み客の増加による観光産業支援の促進。
- ・港湾と主要地方道を連携する道路整備により産業振興の推進。

2. 安全、安心な暮らしを支えるみちづくり

- ・交通安全施設整備、歩道整備、交差点改良で交通事故のない安全な道路整備の推進。
- ・高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進を図る「福祉のみちづくり」を支援するみちづくり
- ・災害時（台風時）の電柱倒壊による道路遮断を防止するための無電柱化の推進

3. 自然と調和するみちづくり

- ・久米島は県立自然公園に指定されており、電線類の地中化等を図り自然と調和したみちづくりの推進

様式④

○重点事項 ・産業支援促進 ・少子・高齢化対策	○代表事例 観光振興地域内（久米島イープリゾート地域）を通過する久米島一周線の島尻地区～イープリゾート観光地街～真泊漁港を經由し久米島空港真泊線（主要地方道）を結ぶ道路を整備することにより既存道路と一体となって町の観光振興の重点施策であるゴルフ場開発及び奥武島リゾート開発の促進が図れる。 久米島の中心市街地である中央・新興通り商店街の未歩道部分においての歩道整備、既歩道部分については片側 1.5m であり歩道内に電柱設置があり狭隘なため歩道空間の拡張や無電柱化による整備、また歩道に段差があるためバリアフリー化としての整備。	○期待する効果や評価等 観光振興を促進することにより、観光関連事業所への雇用効果が促進され人口減少に歯止めがかかる。 交通弱者の社会参加が出来る環境を造成することにより「福祉社会の形成」に寄与する。	○その他
---	---	--	-------------

[illegible]

○代表事例

観光振興地域内（久米島イープリゾート地域）を通過する久米島一周線の島尻地区～イープリゾート観光地街～真泊漁港を經由し久米島空港真泊線（主要地方道）を結ぶ道路を整備することにより既存道路と一体となって町の観光振興の重点施策であるゴルフ場開発及び奥武島リゾート開発の促進を図れる。

久米島の中心市街地である中央・新興通り商店街の未歩道部分においての歩道整備、既歩道部分については片側 1.5m であり歩道内に電柱設置があり狭隘なため歩道空間の拡張や無電柱化による整備、また歩道に段差があるためバリアフリー化としての整備。

○期待する効果や評価等

観光振興を促進することにより、観光関連事業所への雇用効果が促進され人口減少に歯止めがかかる。

交通弱者の社会参加が出来る環境を造成することにより「福祉社会の形成」に寄与する。

○その他